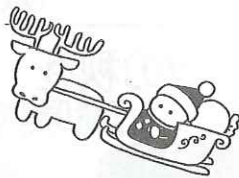


# 公民館だより さくらぎ



平成21年12月号

No. 261

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

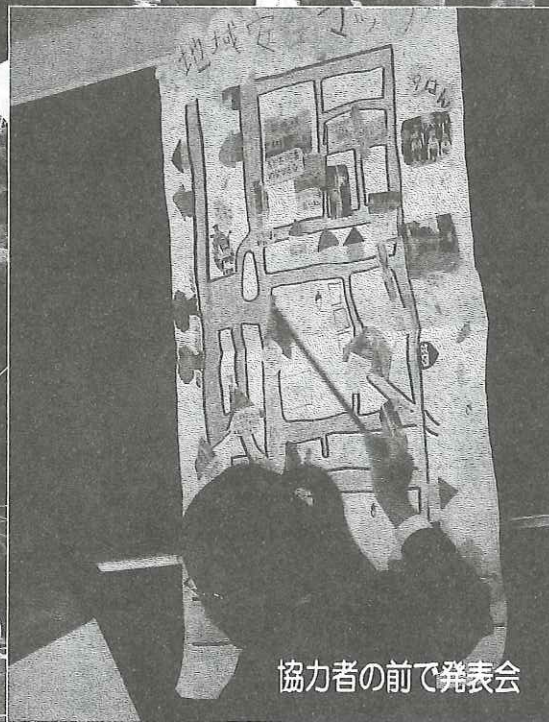
[sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp](mailto:sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp)

## 地域の助けで

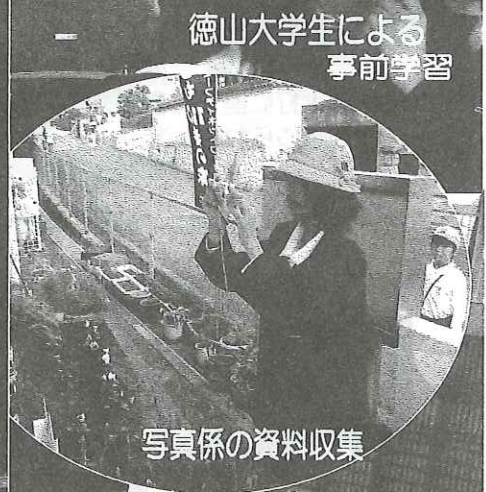
## マップができました!



危険箇所の現地調査



協力者の前で発表会



徳山大学生による  
事前学習

写真系の資料収集

安全マップ製作作業

### 人づくり 百文字提言 子どもたちは 何を学んだか

5年担任 橋田 太郎

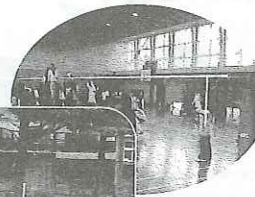
安全マップづくりの主活動である地域での調査活動では、多くの方々とふれ合い、多くの指導助言をいただきました。教室では学ぶことのできない生きた知識が身についた感じがします。

最後の安全マップの発表会で、地域の方と再会できた喜びの笑顔が印象的でした。

# 11月の活動記録簿

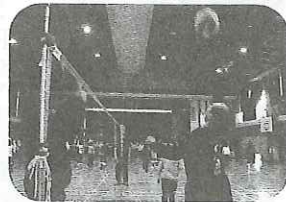
## スポーツの秋を満喫する

10/25 地区バレーボール大会  
ソフトボールの集い



人数を集めるのが大変と耳にする大会ですが、お互いの応援にも忙しい一日でした。バレーボールに参加される男性が増え、ガッツと笑いを提供！楽しい親睦ができました。

10/25 地区ソフトバレー大会



新型インフルエンザの流行で不参加の地区がありました。皆さんは元気いっぱい！笑顔があふれました。

10/27 桜木・今宿交流スポーツ大会（老連）  
（50回記念大会）

《特別研修》

「25年の歴史をふりかえる」

（今宿尚白園作）

この交流会は、25年前の昭和59年、桜木公民館の第2代館長貞弘拾一さんが指導員時代に発足した会です。スライド視聴で25年の歴史を確かめました。

## 学校への学習協力をする

10/28 桜木小4年生学習協力  
「昔のくらし」



対面式～子どもたちの目は期待感で輝いています。



これは一体何ッ！初めて見る「かや」に驚きの表情

老連 34名

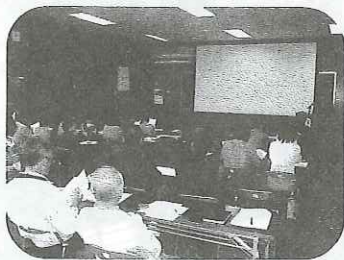
11/5・10 安全マップづくり

学習協力者35名の内訳  
・徳山大学生 2名  
・保護者 221名  
・地域の方 221名

11/20 安全マップ発表会  
（自由参観）

結果（優勝）	バレーボール大会
（約130名参加）	
Aクラス	城 5
Bクラス	桜 1
Cクラス	市住 2
ソフトボールの集い	
（約30名参加）	
城4混成	2勝0敗
桜2混成	0勝2敗
ソフトバレー大会	
（約100名参加）	
Aコート	城 2
Bコート	城 4
Cコート	城 4
Dコート	城 2

## 自分を磨く



10/30 周陽ブロック  
人権問題を考える集い 参加者30名  
講演 演題「認知症を学び 地域で支えよう」  
講師 山口県認知症を支える会会長  
国兼 由美子 先生

- 認知症の人への対応の心得
- 「3つの「ない」」
- 1 驚かせない：後ろから声をかけない
- 2 急がせない：おいていけない
- 3 自尊心を傷つけない
- ：認知症もプライドがある

そっさんが友だちから「お前の鼻は長すぎるネ」とからかわれているのに、「そっよ、母さんも長いのよ」と自分の一番好きな、一番尊敬しているお母さんも長いのよと、誇らしげに答えています。個性を持って生きていく素晴らしさをうたっているのです。

10/29 さわやか女性教室  
講演会  
「生涯百年の人たち」  
講師 鈴木隆子 先生  
まどみちおさんは、自作の「そっさん」を次のように解説されています。



1球1打に歴史の重さを感じられました



とび入りの徳山大学留学生と調理の国際交流を図る

れんこんの南蛮漬け  
 ※材料(4人分)  
 れんこん150g  
 赤唐辛子1本  
 しょうゆ大さじ4  
 酢大さじ3  
 砂糖大さじ2  
 ※作り方  
 ① れんこんは皮をむいて一口代の乱切りにする。酢水にさらす。  
 ② 鍋に湯を沸かし酢少々を加えた中で茹でる。竹串がすつととおるまで。  
 ザルにあげ水気をきる。  
 ③ 赤唐辛子は種を取って輪切り。  
 ④ 鍋に調味料を入れてひと煮立ちさせ、冷ましておく。  
 ⑤ ボールにれんこん、唐辛子を入れて④を入れ漬ける。

シリーズ・紙上講座

学びにおいでよ

② 男性専科 料理教室A  
 講師 仲築間 洋子 先生

10月11日(日曜日)に行われた、1時間30分の実習から、その一部を再現し、講座へのお誘いいたします。

私たちの講座は、家庭料理をメインに4グループに分かれて実習しています。1グループが1品を受け持ち、4グループが出来上がったら試食タイムです。10月11日の献立は、①サンマの生姜煮 ②れんこんの南蛮漬け ③わかめと寒天の中華風サラダ ④豚しゃぶの梅ドレ風味の4品です。紙面の都合で②の献立だけを紹介します。

【試食タイム】は、自分たちの作った料理の自慢や評価をしながら楽しく味わっています。

【食事の後】は、地域のこと、家族のこと等々。話題も盛り沢山で、会員相互の親睦を深め、情報交換する場となっています。

この男性料理が、開館以来の長寿の講座であるのは、  
 ・ チームワークが素晴らしいこと。  
 ・ 美味しい料理が食べられることであると思う。  
 などが考えられます。

これからの人生、いざという時のために、料理がいくつか作れるようになって欲しいと願っています

【開催日時】

第2日曜日 午前10時〜

午後1時

【問い合わせ先】

運営委員 三戸 秀

新刊図書が入りました

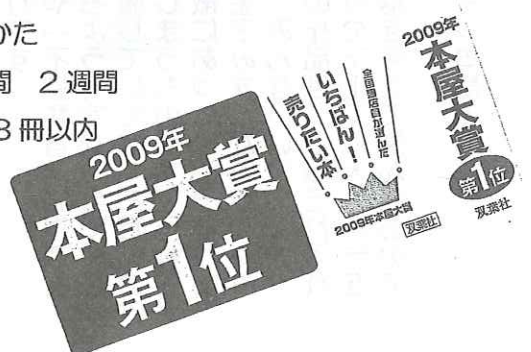


書名	著者名
1Q84①	村上 春樹
1Q84②	村上 春樹
遠野伝説殺人事件	西村 京太郎
吉備古代の呪い	西村 京太郎
外国人墓地を見て死ぬ	西村 京太郎
生姜力	石原 結實
小学校で習った漢字	守 誠
斜陽に立つ	古川 薫
待ってくれ洋子	長門 裕之
体温を上げると健康になる	斎藤 真嗣
日本人の知らない日本語	蛇蔵と海野凧子

書名	著者名
デジカメ写真の撮り方・撮られ方	織作 峰子
坂本龍馬 歴史大事典	
新参者	東野 圭吾
告白	湊 かなえ
終の住処	磯崎 憲一郎
ヘヴン	川上 未映子
メタボにはタマネギが一番!	斎藤 嘉美
14歳からのお金の話	池上 彰
魚の博物館	古川 教元
男も女も五十を過ぎたら内臓勝負です	綾小路きみまろ

利用のしかた

- ・貸出期間 2週間
- ・1回に3冊以内



# 話 話

話 話



## 「とおの山」が、ものさしになる

11月5日、「とおの山点検」に出かけました。頂上でボックスの中の点検整備をしていると、子どもの声が聞こえてきました。子どもとお母さんのお客さんです。幼稚園の子どもらしく、緑色の運動帽と胸一杯に大きな名前を書いた運動シャツを着ていました。

「お母さんと一緒？ 高い山によく登れたね」と、話しながら近づくと、次々に登ってくる子どもたちの姿が見えます。

「こりゃ大変。幼稚園の遠足だ！ それにしても引率が少ないなあ。」と、心配していると、子どもたちの後ろから続々とお母さん方が登ってこられます。

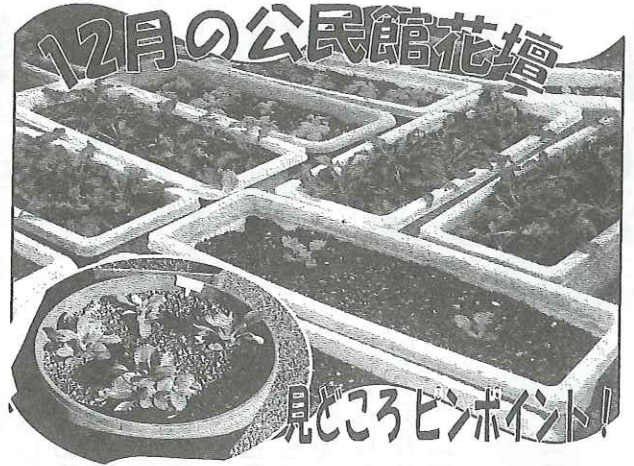
「やれやれ安心した。それにしても、親子一緒に登ればもっと楽しいだろうに・・・」

**園** 長先生に遠足の話聞き、心配事は吹っ飛びました。

「今日は、幼稚園の名物行事、年長組の『卒園遠足』です。とおの山に登れた子は、小学校まで歩くことができる子で、卒園できるのです」

**親** を凌ぐ？脚力。

胸をはって卒園してください。



冬の花壇の主役は葉牡丹やパンジーですが、公民館花壇では春に向けての準備も進んでいます。

都わすれ、カンパニュラアルペンブルー、紅花だいこんそう、さくら草、

さくらぎ草（ふくろ撫子）、

ラグラス（兎の尾）、忘れな草

等々の苗が育っています。

花の種子もありますので、興味のある方は声をかけてみてください。

## 12月 さくらぎカレンダー



- 8日（火） 公民館大掃除
- 13日（日） 地区一斉クリーン作戦
- 13日（日） 資源回収
- 16日（水） そばうち教室
- 19日（土） 正月飾り作り教室（コミスク）
- 20日（日） 桜木小学校体育館大掃除
- 1月1日 とおの山新春登山
- ※12/29（火）～1/3（日） 公民館事務室休み

- ・冬雲の さつと寄り来て 陽を阻む
- ・田舎膳 煮物汁物 柚子香る
- ・風邪流行る 畑のものの採り 鍋物に
- ・冬耕の 根のはびこりて はかどらず
- ・日向ぼこ 思い出話 尽きぬまま (一洋)

## 【 雑記帳 】

もう師走。この時期には珍しい年度を振り返る作業をしています。広報「さくらぎ」を県に出品する選定作業です。

年間12枚の紙面を発行順に並べてみると、真先に飛び込んでくるのは、動きのある作品です。優れた紙面の3点は、すぐに決まりそうでしたが、無作為に並べ替えてみますと、あら不思議！目立つ作品が微妙に変わってきます。

色彩学の用語に「捨て色」なる物騒な言葉があるそうです。ある色をひと際鮮やかに見せたり、より印象づけたりするために使う目立たない色のことです。（美人の日本語から）

音の世界でもこれによく似た手法があります。「ドミソ」の協和音を美しい響きに際立たせるために、協和音の直前にわざと響きを崩す不協和音を差し込む手法がそれです。

「捨て色」や「不協和音」は損な役柄を演じているようですが、全ての色や音が自己主張しているのは、お互いのよさを消してしまうものです。それぞれの性格や特徴にあった役割分担があるものです。金子みすゞがうたう『みんなちがって、みんないい』のです。

今年も桜木の作品は、3点それぞれが、まちづくりのテーマ『人の和』を際立たせる役柄を考えて選んだものです。

舞台裏のナイショ話です。